

# 修士論文要旨

|  |                  |            |                      |
|--|------------------|------------|----------------------|
| 開放環境科学 専攻  | 学籍番号<br>80323445 | フリガナ<br>氏名 | アンズイ シンタロウ<br>安随 晋太郎 |
| (論文題目)<br><br>オントロジーに基づく<br>携帯情報端末用レコメンデーションシステムの構築  |                  |            |                      |
| (内容の要旨)<br>近年、携帯型情報端末を用いて実世界に関する情報を容易に取得できる環境が整いつつある。こうした携帯型情報端末を用いて利用するサービスの多くは、入出力に適したディレクトリ型サービスである。また、そこで用いられているディレクトリ型構造は、一般的に巨大かつ、固定的・汎用的なものが多い。しかし、ユーザの嗜好体系は多様であり、固定的・汎用的な構造では、ユーザの要求全てに対応することができない。そのため、巨大なディレクトリ構造の中でのディレクトリ探索のコストは大きくなり、ユーザの負担も大きくなる。こうした問題は、ユーザの興味や関心に応じた形で情報を提供・表示することで改善できると考えられている。<br>本研究では、ユーザ適応させた情報提供を目的として、ユーザの嗜好情報拡張による概念検索を提案する。個人嗜好情報を領域オントロジーを用いて拡張させることにより、ユーザの好みに応じた情報を提供する。一般的にユーザの分類・作成した情報は、個人の嗜好体系を反映していると考えられる。しかし、個別に作成される嗜好情報は小規模であり、プロフィールとして情報が不十分である。そこで、多くの情報を持つ領域オントロジーを併用することにより、低コストでユーザの個人嗜好情報を拡張させる。領域オントロジーはディレクトリ型サービスを対象とし、個人嗜好情報は携帯型情報端末からの位置情報やカテゴリ化されたブックマーク等を用いる。また、本研究では嗜好情報の拡張による概念検索のためにオントロジーに基づく携帯情報端末用レコメンデーションシステムを開発した。このシステムでは、エンドユーザが屋外で負担なく周辺情報を得られるようなシステムを目指し、見知らぬ土地でユーザの嗜好に基づいた飲食店のレコメンデーションを行う。<br>本研究における提案システムで評価実験を行った結果、ユーザにとって適切だと感じられる情報を提供できた割合は、汎用飲食店検索エンジンを利用した場合には51%であったのに対して、システムを利用した場合には73%の割合で適切な情報を提示できた。結果として、本システムにより低コストで嗜好情報を拡張させることができ、ユーザの嗜好に基づくレコメンデーションの可能性を提示することができたと考える。 |                  |            |                      |